

第5回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

■日 時 : 平成28年2月3日(木) 14:00~15:30

■場 所 : 日田市役所 庁議室

■出席委員 : 15名中12名出席

飯田委員 日隈委員 石橋委員 河津委員 永松委員 諫山委員 篠藤委員
伊藤委員 藤吉委員 笹山委員 海老原委員 大塚委員

■次第

1. 開会

2. 審議

(1) 日田市総合戦略について

・日田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案)について

3. 閉会

発言者	主 旨
事務局	ただ今より「第5回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を開催いたします。始めに会長より挨拶を頂きたいと思っております。
会長	<p>日田市版総合戦略策定について大詰めを迎えております。人口減少社会に対応する事は難問中の難問であります。しかし、この問題には立ち向かっていかなければならないと思っております。本当に全力をあげて今後も取り組んでいかななくてはならないと思っております。</p> <p>先日、JR九州のななつ星列車をデザインした水戸岡さんが別府大学に来ました。私はパネリストとして一緒に話をしたのですが、水戸岡さんが言われたのが、JR九州だからななつ星列車の企画が出来たのだということでした。なぜなら、JR九州はもう失うものがなかった。だからこのような企画ができたと言われていました。</p> <p>本日は、日田市版総合戦略の策定にむけて、最後の詰めを行います。この総合戦略が策定されて、日田市は、ある意味スタート台に立ったと思っております。やはりどんどん糸を紡いでいながら育てていくということが大事なのだと改めて思いました。本日もよろしくお願いいたします。</p>
事務局	ありがとうございます。それでは、審議会設置要綱に基づきまして、ここからの会議の進行は会長によりしくお願いいたします。
会長	それでは、会次第に基づきまして、会議を進めて参ります。事務局より会議成立についての報告をお願いいたします。
事務局	本日の会議は委員15名中、3名の方から欠席のご連絡をいただいております。12名の方がご出席いただき、過半数を達しておりますので、本日の会議は成立することをご報告いたします。
会長	<p>ありがとうございます。それではさっそく議事に入りたいと思っております。</p> <p>12月28日から1月26日までパブリックコメントが実施され、様々な意見を頂いております。それについて、事務局がどのように整理したかについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～資料1「第4回審議会以降の経過と予定」の説明～</p> <p>～資料2「国勢調査速報についての新聞記事」の説明～</p> <p>～資料3「パブリックコメント（6件）」の説明～</p>
会長	資料1から3、主に資料3パブリックコメントについての報告をしていただきました。これについてご質問等あれば挙手をお願いします。
委員	パブリックコメントの対応についてはわかりましたが、1月12日に開催した、市民説明会での意見の内容については、どのように対応するのでしょうか。
事務局	今回実施した、市民説明会では、数件のご意見をいただいております。この後、資料4,5で説明する予定でしたが、ご質問がありましたのでご説明いたします。

	<p>説明会でのご意見で、この総合戦略の策定期間の最終年となる2019年（5年後）の人口目標を設定すべきとご意見がありました。これについて、ご意見を反映しその人口目標値を盛り込んだところでございます。他のご意見については、今後の総合戦略の中で活かしていきたいと考えております。</p> <p>また、これまで様々な機会で頂いたご意見についての対応を市ホームページ等で公表する予定です。</p>
会長	<p>市民説明会と同じように分野別会議でも総合戦略（案）を説明しておりますが、そこでの意見については、どのように対応しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の総合戦略策定に合わせまして様々なご意見を賜る主旨で会議を設置しております。これらの会議へ市民説明会と同じ内容を、1月13日から1月18日の間で説明しております。</p> <p>この会議で頂いた意見は、今後の事業推進などに参考となる内容で、総合戦略（案）を修正する内容はありません。</p>
隈委員	<p>資料3の6ページに地域間の競争とありますが、それはそうだと思いますが、日田市に来てもらう、住んでもらうために、他の市町村から人を呼び込んで来る考えだけで、勝ち組負け組という話になります。競争はあると思いますが、協力協働も必要だと思います。</p> <p>今、婚活パーティーなどに取り組んでいる団体がありますが、日田市と近隣市から応募してもらい、出会いを創っていくことに取り組んでいます。日田市の人口減にどう歯止めをかけるかということを近隣の市と協力して取り組む事は当然あっていいと思います。</p> <p>例えば、うきは市との交流を深め、出会い・結婚に繋げて、どちらに住んでもいいのです。どちらかに住んで、子どもを授かり豊かな生活ができるように。近隣の市町村がそうならば日田市にとっても有効だと思いますので、あまりここを強調しないほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>総合戦略の推進にあたって、日田市単独で全て取り組めるとは思っておりません。地域間連携として、日田市だけでは効果が上がらないものを、委員からのご意見のとおり、うきは市、小国町、玖珠町、九重町など周辺と手を組むことは必要なことだと思います。今後の取り組みの中で近隣の自治体にはお声かけをしていきたいと思っております。</p>
委員	<p>7ページの6、基本目標1 安定した雇用を創出ですが、日田地区雇用協議会が主となることが書いてあります。総合戦略案の中には雇用協議会という事は記載されていないと思います。どこが中心となって安定した雇用をするのかが、ちぐはぐになっている気がします。</p> <p>雇用協議会というのは、働き場所を見つける、教える。安定した雇用というのは、賃金が上がる、この辺のちぐはぐさが感じられますので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>パブリックコメントでの質問の主旨が、高等学校と一定の団体との連携強化を</p>

	<p>図る必要があるとのご意見です。回答案については、高等学校と地元企業との連携という特定した形で整理をしたところです。それで、日田地区雇用協議会を設け、という表現にいたしました。</p> <p>委員からのご質問の、具体的に総合戦略のどこに記載しているのかですが、雇用関係につきましては12、13ページの人材のマッチング・確保、企業ニーズに応じた誘致活動の推進、企業立地の推進などをトータル的に今回の安定した雇用という意味合いに含めております。</p>
会長	<p>それでは次に進みたいと思います。また後ほど総括的に質問を受けたいと思います。事務局から引き続き説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～資料4「総合戦略（案）変更箇所」の説明～ ～資料5「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」の説明～</p>
会長	<p>主に、パブリックコメントによる変更点と修正等を資料4、5により説明いただきました。</p> <p>これまで総合戦略の策定について我々は諮問を受け、5回に渡りまして総意を出すという形で議論してきました。先ほど説明がありました総合戦略案で基本的には答申を出させていただくということですのでよろしいでしょうか。</p> <p>私は、これまで5回に亘って、真摯な議論がなされてきたと思っております。今日の冒頭でも難問という言葉を使わせてもらいましたが、本当に人口減少をどのようにして歯止めをかけるのか、そのための施策はどうあるべきなのか、どう取り組むべきなのかについて、議論し、忌憚のない意見交換がありました。</p> <p>その中で、私が、この答申を出すにあたって審議会の代表ということで、答申案をまとめましたので、それを皆様方に諮って、ご意見をお聞きしたいと思っております。</p> <p>～ 答申案を配布し、内容を説明 ～</p> <p>主旨と内容については今申し上げたところですが、皆様いかがでしょうか。ご意見、ご質問等をお願いします。</p>
委員	<p>2番目の「実効性の確保について」のところですが、4行目からの「職員一人ひとりが～実施されたい」の部分で、もう一つ言っていたいただきたいのが、市民一人ひとりの実情を想い、よくつかむということがあるのではないのでしょうか。</p> <p>人口減少問題というのは、ひとくくりの問題としてとらえられがちですが、それは市民一人ひとりの生活、状況から来ているものです。それに職員一人ひとりがどう答えるかというのが大事だと思います。</p> <p>なぜこの事を感じたかということ、市議会が1400人の子育て世帯の方々にアンケート調査をしました。その中では、「職場で心無いことを投げかけられて非常に悲しい思いをした」、「実際に職場を辞めざるを得なかった」、「子育てで悩んで薬を飲んでしまった」、「死んでしまったほうがいいかなと思う」などの言葉がたくさん寄せられました。それにどう答えるかということが、人口減少対策として、一人ひとりの市民の生活にどう寄り添うかということだと思います。</p>

	<p>それ無しには実効性というものはないと思います。だからぜひ職員一人ひとりがそういうことを踏まえて策定してほしいと思います。</p>
会長	<p>私も全くそのように思います。文言としてどのように表現するかを少し考えさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今、言われたことは私も全くその通りだと思います。一人ひとりの現実根ざしたところから有効な政策というものが生まれてくるのだと思いますので、やはりそこは大事なところなのではないかと思います。</p> <p>併せて申し上げたいのは、3項目目の大事さです。公か官かはともかくとして、これまで何十年にも亘って過疎対策に取り組んできました。</p> <p>これは明らかに官か公かの主導で行われており、一定の成果は出ていると思いますが、やはりなかなか地方が疲弊していく、過疎化が進んでいくということに明確な歯止めがかけられなかったということです。</p> <p>これに対する反省・検証を踏まえれば、市民一人ひとりが主体的に自分の住んでいるところを良くしようとか、自分たちの生活を良くしようなどの取り組みがあって、初めてそれを支援する行政の働きも生きてくるということだと思います。ですから、この2項目目に併せて3項目目の持つ意味は非常に大きいと思います。</p>
委員	<p>私もこの2項目目と3項目目についてですが、追求するものはやはり市民の満足度をどのようにして高めていくかということだと思います。</p> <p>これはもちろん行政だけで出来るものではなく、ここにもあるようにやはり官と民で創っていかねばならないのですが、主導的なものは、今まで行政本位だったと思います。市民の満足度を高めていくということを優先にした取り組みを講じていくべきだと思います。</p>
委員	<p>前回会長から話がありましたが、この日田市の総合戦略は、市の将来像を思ったときに、何をもちってどのような日田市にしたいかということを決めた方がよいのではないかと発言があったと思います。</p> <p>今日が最後の審議会になるわけですが、事務局にお聞きします。どのような形でこの総合戦略を市民にアピールし、同じ方向を向かせるのかお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>今回の策定にあたり、多くの市民の方々のご意見を伺いました。そのことから、この総合戦略を一つの、何をもちってというのは難しいと思います。</p> <p>「何をもちって総合戦略とするのか」というのは、市長のこの「オールひた」という想いの中にもありますが、最終的には第6次の総合計画を28年度に策定しますので、ここで一概に何をもちってというのを申し上げるのは難しいと思います。</p>
会長	<p>これについては、私は政治学が専門としていますので、その立場から話します。</p> <p>政治の機能と行政の機能ということで、政治の機能というのは、人々を統合するというのが政治の大きな機能です。例えば「一つのアメリカ」とかですね、そ</p>

	<p>ういうスローガンみたいな求心力というものが政治的な機能であります。</p> <p>そこで、市長のリーダーシップということで、市長一人で決めることではないとは思いますが、どちらにしてもここで「オールひた」という言葉がありますし、やはり日田というのは咸宜園に代表されるように日本史の中においては非常に特殊な歴史を持つというようなことも確認しながら、何か一言考える必要があるという議論をしてきました。これはそのような課題として近々に立ち向かっていくことだろうと思います。</p> <p>今回の答申案の作成には、これまで5回に亘るこの想いを反映できないかの想いから、4つを考えてみました。ご助言をいただいた中でまた考えてみたいと思います。</p>
委員	<p>日田としての総合戦略ということで、やはりここに尽きるような気はすごくしています。もうひと押しといいますか、日田ならではの、独自性のある総合戦略というところの念押しと、それを市としてしっかりと考えていけるような流れを作るべきだろうと思います。それが一番大切なことだと思います。何かしらそのような文言を入れるかどうかというところを今一度考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>私の立場から事務局側の考えを少し発言させて頂きたいと思います。</p> <p>委員から先ほどご意見がありました、どのようなまちを目指すのか。ビジョンや理念についてです。</p> <p>日田市では、28年度に策定します第6次総合計画で取り扱うべきものとして考えております。従って28年度が大きなミッションとなります。</p> <p>この総合戦略については、各項目に目標があります。これは人口減少に対応して地域を元気づけていくということを明確にしていることです。具体的にどうやっていくかという主旨の計画であります。</p> <p>従って、ビジョンや理念というよりも、具体的に何をしていくのかということですのでご理解をお願いします。ビジョンや理念をないがしろにするということではなく、それが総合計画というものであるということをぜひご理解を願いたいと思います。</p> <p>それから、以前からこの審議会でも言われておりますが、日田の総合戦略は何が売りなのかということについては、市長からのメッセージとして作成し、総合戦略の最初に入れることを考えています。内容については、先ほど配布しております。その資料の2段落目のところで、要はこの総合戦略は「ひと」が大事だと、「ひと」が中心だと、人口を増やすという意味だけの「ひと」ではなく、一人ひとりの生きている「ひと」が幸せになっていく、そういうまちが大事だという意味で、仕事をつくりましますとか教育に力を入れますとか、日田市版総合戦略には、あらゆるところに「ひと」に関する事業が盛り込まれています。</p> <p>そこで、私どもとしては「ひと」が「ひと」を産んでそれを育てていくことを支援する、あるいは学校で子どもを育てる、教育するということを支援していく、</p>

	<p>そういうものだと我々は考えておりますので理解していただきたいと思います。</p>
委員	<p>答申案の1項目目に、日本の人口は東京に一極集中しているとあり、地方自治体が連携しとありますが、県都一極集中についても考える必要があるのではないのでしょうか。その部分で、大分県と連携して何か上手く取り組めないのでしょうか。</p>
会長	<p>確かに、集中度に関しては県都の方が高いです。</p> <p>日本の現状を見ると、企業の本社、大学も首都圏、東京に集中しています。そして教育に関しては、家計負担、搾取が起こっているわけで、ある限界値が出現しているわけです。</p> <p>政府も国の機関を地方に移すなど、気合を入れている割には興ざめしているという感じです。これらから、80%~90%は国の問題だろうと思われれます。これらの事を国に対して地方は是正を求める意見をしていいと思います。</p> <p>先ほど委員からの意見のとおり、今後の日田市の方向性を示す総合計画が重要です。これこそがまさに日田市のビジョンをつくるということになるのだらうと思います。</p> <p>県都への人口集中に関しては、もう少し文言を工夫できる場所があれば、考えたいと思います。これについては、私にお任せいただけますでしょうか。（了承）では、そのような形でさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略が、次の審議会で答申して、これが議事に報告されて、日田市の総合戦略として発表されます。</p> <p>先ほどもお話にありましたように、市民説明会などでもわかっているようでわからない、人口減少に対して何かやらなければならないということは分かっているけれども、身近に感じないということがあると思います。</p> <p>だから質問の内容も、抽象的な意見が出たり、あるいは分野別個別検討会では、具体的にこのようなことに取り組んでもらいたいなどの意見が出ています。</p> <p>やはり市民にこの総合戦略で何をやっているのか、これで日田市の何が変わるのかということが良くわかるためには、これを見える化しないといけません。その見える化が、アクションプランだと思います。総合戦略によってここをこう変えますというそれぞれの分野での視点があるのだと思います。それを市民に希望をもって語れないと、市民に希望は生まれてこないと思います。</p> <p>例を挙げますと、先ほど1400人にアンケートを取りましたとお話しましたが、その意見から、職場環境に対す意見がありました。その職場環境の改善について、市から指導してもらいたいとの意見もあります。</p> <p>きちんと総合戦略の取り組みを見える化しないと、市民は行政の計画だからとの程度で話が終わると思います。もう28年度予算もほぼ固まっている時期です。やはりアクションプランが決まらないことには始まらないと思います。</p>
会長	<p>この審議会は、総合戦略を策定するというのが一つの区切りになると思います。今後は具体的に事業が行われ、それが本当に効果があるのかどうか、きちんと</p>

	<p>と見える化されているのか。今後も具体的な事業や取り組みの工夫など具体的なアイデアや事業の見直しを引き続き実施していかないといけないと思います。それが、今後の私たちの役割でもあります。</p> <p>それでは以上で本日は終了したいと思います。事務局より何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>～ 資料6「金融機関との連携」について説明 ～</p> <p>～ 講演会の案内 ～</p> <p>～ 第6回審議会の予定説明 ～</p> <p>本日、会長からの答申案について、大筋の合意が頂けたと思います。</p> <p>一部、皆様から頂きましたご意見の反映について、修正等の検討を会長に一任頂いた形になりましたので、次回の審議会の冒頭に再度審議頂き、その後市長に答申する日程ですすめさせていただきます。</p> <p>以上で本日の審議会を終了いたします。</p>